



わかあゆ

編集・発行：高津・東高津中学校区地域教育会議 広報委員会

東高津中の独自宿泊行事

農家体験学習

川崎市立東高津中学校

学校長 西村 昌也



今年度、幸区の塚越中学校より異動してまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、各学年5学級、支援級4学級の合計553名の規模校です。

学校経営方針として、『東高津中学校で「生徒が」学んで「教職員が」教えて「保護者が」学ばせて「地域が」地域の学校で良かったと思える学校づくりの推進』を掲げ、教育実践に努めています。

ここで本校独自の宿泊行事、農家体験学習を紹介します。2年生の夏か秋に、栃木県大田原市やその周辺地域に2泊3日で、農作業を体験しながら、農家に民泊する

もので、今年で28回目になります。目的は3つあります。

1つ目は、農作業をとおして、勤労の意義や大切さを学び、社会性・自主性を養うことです。

2つ目は、毎日食べている米・野菜・果物などは農家の人たちの毎日の地道な作業によってもたらされていること、その収穫は自然に左右され、簡単には出来ないことを実感することです。

3つ目は、農家の方々に感謝の気持ちを持ち、川崎では味わえない大田原の動植物、星空や川の水や空気を感じて、見て、触れることです。

修学旅行とは違い、友と3日間寝食を共にすることも、寺社を巡ることもありませんが、両手に野菜を抱えている姿を見ると、「収穫」という貴重な体験ができ、生徒の成長に大きく寄与する行事であることを実感します。

農家体験学習は平成6年から。若手県東和町で14年、その後平成20年から新潟県十日町市に体験場所を変え、現在は栃木県大田原市とのこと。継続されていることに敬意を表します。

平成15年の20周年のお祝いに、東和町からのお客様がいろいろとを思い出します(編集子は当時のPTA会長)。

こちらは農家体験ではなく東高津中学校中庭の芋畑づくり 地域のおやじたちと(2022年5月22日)



コロナ禍で一昨年は中止。2年連続やらないと途切れるとの危機感から昨年再開。耕運機で手伝ってくれたのは、坂戸第一町会の筒井町会長です。
※『わかあゆ』は、地域の子どもたちが多摩川の清流で育つ若鮎のように、力強く健やかに成長して欲しい、との想いによるネーミングです。



大塚 久美子 議長

本年度より地域教育会議にてお世話になります。どうぞよろしくお願いたします。

私は高津中学校にて2019年度、20年度のPTA会長を務めさせていただきました。

19年度は例年通りの活動ができたものの、20年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、思ったようなPTA活動を行うことができませんでした。

高津中学校の生徒たちの楽し

令和4年度 役員改選 両中学校区 議長ご挨拶

高津
中学校区

今年度は役員の改選期。
高津中学校区は大塚議長が就任、
東高津中学校区は横山議長が留任
両議長よりご挨拶です。

東高津
中学校区



横山 けい子 議長

今期で3期目になります。東高津中学校区議長の横山です。

反省と勉強の1期目、コロナで活動を見送った2期目、そして今期：。

2期4年間で活動らしい活動が出来なかった分、これからの2年間は地域の皆さんに楽しんでいただけるイベントの企画や地域

教育会議の柱のひとつであり「教育を語るつどい」を開催して、他にはない高津中学校区・東高津中学校区2校区合同の地域教育会議として特徴ある活動の礎になる2年間にしていきたいと考えております。

まずは、イベントや講演会を通して、地域教育会議の活動を皆さんに知っていただくこと、委員の方々に今後長きにわたり活動をサポートしたい！と思っていただけのような活動にしていきたいと考えています。

今年は、高津中学校区・東高津中学校区地域教育会議のイベント、講演会を開催していきます。

多くの方々に参加していただけたら嬉しいです。

これから2年間、よろしくお願いたします。

議長の任期は2年(再任は妨げない)とされ、今年度は改選期に当たりました。

両議長のご活躍を期待し、みんなで盛りあげていきましょう！

そうなる顔が見たい、中学生らしい充実した生活を過ごさせてあげたい。そんな強い想いも虚しく、生徒たちには我慢我慢を押しつけたまま任期を終えることとなりました。

そこから1年間、やり残した後悔のような思いを抱えながら過ごしてきました。

しかし本年度はこの気持ちを生かすことができます。今度は高津中学校区だけではなく高津中学校区という広い範囲の子どもたちのために奉仕することができそうです。

まだまだ流行り病に対する危機感がありますがすでに3年のお付き合いです。上手な付き合い方もわかってきました。本来の理想とされるものは難しいとしても、新しい安全にも配慮しながら今できる限りの地域活動を行ってまいります。

地域教育会議は、これからの地域の子どものための健やかな成長を見守り支えて参りたいと考えております。

高津中学校区にある各校の校長先生をはじめとする教職員の皆さま、各校PTAの皆さま、地域内にお住まいの方々、今後ともご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

地域の寺子屋事業イメージキャラクター「寺ッコ」



地域の寺子屋 東高津小学校の寺子屋紹介

川崎市の寺子屋事業 ～体験活動と学習支援～

地域人材や企業、大学などの人材を寺子屋先生として、さまざまな体験活動や世代間交流のプログラムを実施しています(土曜日等月1回)。

また、元教員、地域住民、学生、保護者などが寺子屋先生として、子ども達の宿題や寺子屋で用意したプリント学習などをサポートしています(平日週1回放課後)。

寺子屋ひがしたかつ

寺子屋ひがしたかつは、東高津小学校で2020年に開講し今年で3年目。地域のシニア世代、大学生、保護者などが寺子屋先生です。

新型コロナウイルスの感染拡大により、開講の時期が何度か延期となりましたが、子ども達は寺子屋先生と一緒に宿題や学習プリントに楽しく取り組んでいます。

大人気のトランポリンは、毎年100名近くが参加し、みんな楽しそうに跳ねています。また、2020年には、日本漢字能力検定(漢検)の準会場認定を取得し、定期的に「寺子屋ひがしたかつ」で漢検を実施しており、多くの児童がチャレンジしています。

一般社団法人ピッカ

寺子屋ひがしたかつを運営するのは、一般社団法人ピッカ。文化、芸術、教育を通して、児童、青少年、障がい児(者)の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育む事業、ふれあい、鑑賞の提供をする事業、地域社会の健全な発展、活性化、世代間交流をする事業、高齢者の福祉の増進をする事業実施を目指しています。

10月の体験活動は「花苗の植替え」

寺子屋ひがしたかつを取材した10月29日(土)は、体験活動として花苗の植替えを実施していました。ご指導いただいた小泉さんにお話を聞きました。



私はこの地域に住んで40年、親子運動会などの活動に参加してきました。

寺子屋で「花いっぱい」事業を頼まれて3年、今年は天候不良で苗が少なかったですが、子どもたちは土をいじって植替えを楽しんでくれました。

大きく育て、花でみんながいやされることを願っています。パンジーは、種ができると、花は咲かなくなります。花柄は摘んで、その花は水を張った器に浮かべるときれいですよ。

かわさきスポーツドリーマーズで小学生のスポーツ教室を企画・運営しています。冬休みには東高津小学校でミニバス教室が行われます。

また、寺子屋の春田先生と、宮崎台小学校で体操教室も行っています。

ミニバス：「ミニバスケットボール」の通称。11歳以下により行われるバスケットボール競技のこと。

特定非営利活動法人
かわさきスポーツドリーマーズ
小泉 英夫さん

「地域教育コーディネーター」の設置について



法改正により、2019年度から努力義務化された公立学校のコミュニティ・スクール化と、コミュニティ・スクールに指定された学校に設置される学校運営協議会と連携し、多様で継続的な地域学校協働活動を推進するための組織(地域学校協働本部)として、川崎市では20年以上の活動実績がある中学校区地域教育会議を、「地域学校協働本部」として位置付けることになりました。

そして令和2年度からは、それを具体的にサポートする役割として、「地域教育コーディネーター」の設置が進められています。

私たちの中学校区では、コミュニティ・スクール化はこれからですが、高津・東高津の両中学校区に地域教育コーディネーターが各1名設置されました。

令和4年2月1日付で東高津中学校区地域教育会議のコーディネーターとして角田仁さん(東高津中学校区地域教育会議元議長。現在、高津区地域教育会議議長)が委嘱されました。

また、令和4年8月1日付で高津中学校区地域教育会議のコーディネーターとして藤田和史さん(高津中学校区地域教育会議前議長)が委嘱されました。

それぞれ当該中学校区の中学校長と中学校区地域教育会議の議長の推薦を基に、教育委員会が委嘱するものです。

地域教育コーディネーターは、中学校区に属する小学校及び中学校に原則各1名を配置することができるとなっていますので、今後は各小学校への配置も目指し、学校・家庭・地域の連携がこれまで以上に円滑になるよう期待されます。

コーディネーターの役割は次のとおりです。

■**地域と学校の協働を推進する「橋渡し役」**
地域教育コーディネーターは、社会教育法第9条の7第2項に規定される地域学校協働活動推進員に位置付けられる、地域と学校の「橋渡し役」です。

■**連絡調整、事務局運営、活動支援など、多様な活動**
主な活動内容は次の通りです。
・中学校区地域教育会議の運営に関すること。

・学校教育推進会議または学校運営協議会、その他必要な協議体との連携
・地域の特性や課題となつていないこと
・「学校の教育活動がめざしていること」
・「地域のさまざまな力(人材、活動、施設など)」を結びつけて、地域や学校が行う教育活動を支援すること。

地域教育会議がめざすもの

・子どもがいきいき育つまち
・おともも楽しく学べるまち

「地域教育会議」と聞いても知らない方が多いと思います。名称が堅いこともあり、浸透しているとは言えませんね。

1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発。川崎市では地域からの教育改革をめざし「地域教育会議」が提案されました。

地域と学校、行政が共に協力し、子どもがいきいき育つまちを作ろうというものです。そして、おともも楽しく学べるまち、ひいてはあらゆる人々が共に生きる地域社会をめざします。

地域教育会議は平成10年には7行政区、51中学校区すべてに設置されました。高津中学校区と東高津中学校区は、川崎市で唯一、2つの中学校区が合同で活動を行っています。

「わかあゆ」の第46号をお届けします。前号で取り上げられなかった寺子屋ひがしたかつの紹介ができました。今号より広報委員会としての活動が始まりました。

〈企画・編集 角田〉

